



福島県産等の水産物の活用について

令和 5 年 1 0 月 2 6 日
広域産業振興局農林水産部

福島第 1 原子力発電所事故に伴う処理水の海洋放出を受けた海外での日本産水産物の輸入規制等により、水産業に影響が懸念されている中、関西広域連合としても福島県産等の水産物を応援するために、「おいしい！KANSAI 応援企業」の皆様に食堂メニューへの福島県産等の水産物の活用を別紙のとおり要請しましたので報告します。

(参考)

- ・おいしい！KANSAI 応援企業

関西広域連合のエリア内の特産農林水産物をより身近なものとして親しみを持って利用してもらうことにより、エリア内でのより一層の消費拡大を図る運動の趣旨にご賛同いただける企業等

- ・登録企業：約 1 7 0 社



水産物を食べて応援！

いつも関西広域連合域内の食材利用にご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、福島第1原子力発電所事故に伴う処理水の海洋放出を受けた海外での日本産水産物の輸入規制等により、水産業に影響が懸念されています。

このような中、関西広域連合構成府県では、職員食堂で福島県産等の水産物を用いたメニューを提供するなどの取組を進めています。

「おいしい！KANSAI応援企業」の皆様におかれましても、食堂メニューへの福島県産等の水産物の活用をよろしくお願いします！

農林水産省等においても取組が進められています！



三陸・常磐もの
ネットワーク
SANRIKU JOBAN MONO NETWORK



産業界、全国の自治体、政府関係機関から広く参加を募り、三陸・常磐地域の水産物等の“売り手”と“買い手”を繋げることで、「三陸・常磐もの」の魅力を発信し、消費拡大を推進するプロジェクトです。社食や弁当、キッチンカーやマルシェを通じて「三陸・常磐もの」をお届けします。

#食べるぜ
ニッポン!



「#食べるぜニッポン」という共通のハッシュタグとロゴ画像を使い、水産物の写真をSNS上で投稿していただくことを呼びかけています。ロゴ画像は店舗やイベント会場など、国産農林水産物の応援・消費拡大につながる取組で活用可能です。